

鳥取県・中原副知事から高齢者交通事故防止の取組みに御礼挨拶

～「反射材付き交通安全啓発チラシ」3千部を鳥取県交通対策協議会に贈呈～

日本損害保険協会鳥取損保会(会長：仙道 達也・三井住友海上火災保険株式会社 山陰支店鳥取支社支社長)は、11月19日(水)、仙道会長が鳥取県庁を訪問して、高齢者交通事故防止の取組みとして鳥取県交通対策協議会に「反射材付き交通安全啓発チラシ」を3,000部の贈呈に対し、鳥取県・中原 美由紀副知事から謝辞がありました。

チラシの贈呈にあたり仙道会長から、「日本損害保険協会は、安心・安全な社会の実現のため、高齢者の交通事故防止を重点取組みの1つとして掲げて、積極的に取組みを進めている。残念ながら、鳥取県では、本年9月時点で、397件の交通事故が発生しており、反射材を靴やカバンに貼り付けていただくことで、少しでも交通事故が減少することを願っている。」と挨拶がありました。

次いで、仙道会長から同協議会の副会長である鳥取県・中原副知事に目録が手渡されました。

中原副知事から、「これから日が暮れる時間が早まる中、反射材は、交通事故防止に効果的である。鳥取県では、高齢者を交通事故からどのように守るかが重要なポイントになってきている。贈呈いただいた「反射材付き交通安全啓発チラシ」は、年末の交通安全運動などで活用させていただきたい。」とお礼の挨拶がありました。

当支部では、引き続き、鳥取県をはじめ関係先との連携を強化して、交通事故防止に関する活動に取り組んでいきます。



中原副知事（左）に目録を渡す仙道会長



仙道会長の挨拶



反射材付き交通安全啓発チラシ



会談の様子